	事業所名	放課後等デイサービス のびっとFLor				支援プログラム				作成日		令和7	年	1 月	1日	
法人(事業所)理念		障がいがあっても一人の人間としてその人となりに幸せな人生があるべし														
支援方針		「かかわる」言語や非言語によって、自分の意志を伝えたり、相手の意志を理解できたりします。集団活動へ参加して社会性を育みます。 「くらす」 トイレ、食事・着替えなど、自分自身の生活動作ができたり、身体の保護やお金の管理ができたり、安全で自立した生活が送れるよう支援します。 「はたらく」好きなことや得意なことを生かした仕事に就いて、心身が健康な状態で、自分に合った働き方ができるよう支援します。														
営業時間(1)		平日	13	時	30 分から	17	時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	送迎	場所に。	より送迎有無につ	いては応相談	
営業時間(2)		土・祝 長期休暇	10	時	0 分から	16 E	時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	送迎	場所に。	より送迎有無につ	いては応相談	
		支 援 内 容														
	健康・生活	曜日ごとの活動	カスケジニ	ュールを	日の検温の測定を 設定し、生活リス どこにあるかなと	ぐムの安え	定を図り		援を行います。							
	運動・感覚	音楽に合わせた体を動かす遊びや運動を行います。 ストレッチやからだつくり体操、筋力トレーニング、体幹トレーニングなどの軽運動を行います。 近隣の運動公園や児童館を利用しての活動を月2日以上時間割に取り入れ、軽運動を行います。 感覚過敏に配慮して環境設定を行います。														
本人支援	認知・行動	曜日ごとの活動集団でのゲーム	日付や天気の把握と確認による感覚、数の認識を形成します。 曜日ごとの活動スケジュールを設定し時間の認識を形成します。 集団でのゲームでの適切な行動形成を図ります。 季節の変化への興味など感性形成を構築するため、調理や外出を行います。													
	言語 コミュニケーション	毎日はじめの会やおわりの会を行い、言語コミュニケーションを図ります。 個別または集団において学習の時間を設けます。 活動のルールを文字や絵を掲示し、視覚的支援を行います。 言語聴覚士による発達遊びを通して集団支援と個別支援を行います。														
	人間関係 社会性	定期的な面談、相談の時間を設け、自尊心を育みます。 遊びを通じて集団で行動する機会、役割分担をする機会を設けます。 遊びやSSTを通じてルールを理解する機会を設けます。 地域イベントを通じ、交流の機会を設けます。														
家族支援		困りごと等が発生した際は、調整をさせていただけます。					、及び面詞	談の機会を設	移行支援	希望に応じて小中高生向け放課後等デイサービスの情報を共有いたしま す。						
į	地域支援・地域連携	事業所内での過ごした様子や出来事については保 いたします。					各関係機同	関と情報共有	職員の質の向上	毎日申し送りミーティングを行い、全職員が利用児童に対して、同様の支援が出来るようにします。月2回以上の研修への参加を行います。						
	主な行事等	外出の機会(図書館や児童館などの公共機関での活動、地域の行事参加、就労系事業の体験、体験学習、買い物学習、水難・消防・避難訓練等) 調理実習(家庭料理、季節の料理、ピザ作り、お菓子づくり等) 運動の機会(中高生向け放課後等デイサービスとの合同レク、公園や公共機関での軽運動等)														